

# 日本語教育をサポート

## 8カ国の子どもたちが通う

### 「こうべ子どもにこにこ」会

会(長嶋昭親運営委員  
長、児童・生徒数21人、  
ボランティア19人)はこ

語・日本語教育部門)を  
受賞した。

◇

同地域には南米系を中  
心にして外国人労働者が多  
く、その子どもたちは親  
と一緒には地域の日本語教  
育活動の取り組み  
で、(財)博報児童教育振興  
会の第39回博報賞(国  
問題を抱えていた。

ここにこ会は、02年に  
こうべ子どもたちの支  
援を目的に設立された。

学校、保護者、地域住  
民・自治会、ボランティア  
ア、教育機関などと連携  
しながら「すべての子ど  
もたちが自分以外の存在  
を個性として認め、尊重  
し自立する。地域の多文  
化共生を目指す」ことを  
目標に、日本語・教科・  
母語支援教室(スペイン  
語)を中心に、様々な事  
業を展開してきた。

途半端な状態に置かれて  
いる。また、母語でも日  
本語でも十分な自己表現  
ができる状態ではない

大きなカベになってい  
る。そのためにも、この  
教室は基礎学力の向上に  
役立つという。  
また、断片的な支援に  
陥らないことを念頭に  
おき、「学習」だけではな  
く、「こころ」「地域(環  
境)づくり」などの観点  
からみつめることによ  
り、人間としての成長、  
地域での共生を意識した  
サポートもしている。



日本語、教科支援教室で

たとして本庄小学校に同  
会が協力する形で開催さ  
れており、児童館や自治  
会との定期的な交流など  
を通して活動を進めてい  
る。「子どもの精神面や  
学習面だけでなく、地域  
における多文化共生の取  
り組みに成果が現れてい  
る」としている。

なお、同会では「こう  
べ子どもにこにこ」会  
ニュース(B5判、6  
頁)を昨年2月から発  
行、今年の10月で5号を  
教えている。

同会☎658-000  
222兵庫県神戸市東灘区  
深江南町4-12-20  
1201/TEL078(4  
53)7440。

## 第39回博報賞の 受賞校から

高根県東出雲町学校(門)を受賞した。

テラシーを軸とした教育  
を展開している。また、  
全校に常勤の学校司書を

収集の入り口でつまずい  
ている」という問題点が  
出てきた。そこで、現状

校と中学校が互いに連携  
をとり、学校図書館教育  
を充実させなければならない

スキルを段階的に積み上  
げていくための「東出雲  
版 情報・メディアを活

増加し、児童・生徒の語  
彙が豊かになり、言語力  
が伸び、児童・生徒が生